

第4回小郡市子ども・子育て会議 会議要約

日時	平成26年6月25日(水) 13:30~15:50
場所	人権教育啓発センター
出席者	<p><委員></p> <p style="text-align: center;">中尾委員、飯田委員、吉塚委員、今吉委員、梶原委員、組坂委員、鈴木委員、立野委員、寺崎委員、西本委員、平井委員、</p> <p><事務局職員></p> <p style="text-align: center;">鮫島保健福祉部長、伊東子育て支援課長、野田子育て支援係長、成富子育て支援係員</p> <p style="text-align: center;">(株) ジャパンインターナショナル総合研究所 山部</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回 小郡市子ども・子育て会議次第 ・研修会レジュメ「子どもの人権を考える視点—人権教育のツボ」 ・(仮称) 小郡市新次世代育成支援行動計画(前期)及び子ども・子育て支援事業計画(第1期)骨子案 ・小郡市子ども・子育て会議委員名簿
会議内容	
1 開会 研修	<p>テーマ:「子育ての豊かさのために」 ～ I love me～</p> <p>講師: 谷口 研二 氏 (公社) 福岡県人権研究所事務長</p>
2 議題	<ul style="list-style-type: none"> ・交代委員の紹介及び委員長・副委員長の承認 <p><u>(1)「小郡市子ども・子育て支援事業計画」骨子案について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ①第1章 計画の策定にあたって 事務局からの資料説明及び事前質問に関する説明後、意見を求める。→意見・質問等なし ②第2章 小郡市の子どもや子育てを取り巻く現状について 事務局からの資料説明及び事前質問に関する説明後、意見を求める。→意見・質問等なし ③第3章 小郡市の子どもや子育てを取り巻く課題について 事務局からの資料説明及び事前質問に関する説明後、意見を求める。 <ul style="list-style-type: none"> ・2月の市議会だよりに、子育て支援の充実で計1,361万円の増額補正が提案されたと載っているが、これはどうなっているのか。 →1,361万円の増額補正は確定しており、障がい児を受け入れている学童保育所に、移動式のつい立てで障がい児用のスペースをつくった。保育士の待遇改善については全額補助事業で、第1回目に1,000万円ほどを上げて私立保育所の保育士の処遇改善に充てており、保育士の人数確定のために追加で上げさせていただいた。また、新制度になったときの名簿

等のシステム改修費用もあり、これも全額補助事業になっている。

- ・「1 地域に根ざした子育て支援」の「(5) さまざまな家庭への子育て支援について」にひとり親や障がいを持つ子どもさんの例が挙げられているが、小郡市で生活してある外国籍の親御さんへの支援も行政で考えていく必要があると思う。例えば、お便りや今回のアンケートについてもなかなか理解できないので、計画では小郡市内における実情もしっかり反映させていただきたい。
→ご指摘のように外国人の方からの回答がなかったので、英語等を付け加えて、アンケートを取りたいと考えている。
- ・「(3) 子どもにやさしいまちづくり」について、今、小中学校で安全マップを作っているが、危険な場所をどう安全にしていくかについては考えていただいているか。例えば、私の地域では子どもが毎朝 200 人ほど踏切を通るが、踏切内の歩道が非常に狭い。
→教員と行政が危険箇所を確認し、改善を図っていると聞いている。踏切内の歩道など、すぐに取りかかれぬ所もあるが、通学路の安全確保という意味で教育委員会に話したい。
- ・安全マップは小中学校のPTAと学校による安全対策会議の中で作られているが、市道・県道など道路の管理が違うので、歩道をつくるにしても要望をどこに持っていけばいいかわからないという問題がある。窓口を幾つも回らされたという話も聞くので、その辺をスムーズにしていればPTA役員も動きやすいと思う。
→行政区からは毎年、要望を絞って挙げていただいている現状がある。子育て支援課が要望を受けるのか、教育委員会が受けるのか、内部で話し合い、まずは窓口の部分を決済していきたい。
- ・自由回答の中に「子ども用のトイレや便座を設置してほしい」とあるが、どの施設のことか。具体的に調査をしていかなければ要望が出ただけで終わりになる。公共施設には便座を置くなど、それほどお金をかけなくてもできると思うので、できれば早急をお願いしたい。
→具体的にどこかは書かれてなかったと思うが、図書館や運動公園など子どもが集まる所ではないかと思う。子育て支援課のある別館にもトイレがないので、今後、改修の折には要望していきたい。
- ・4月に出産し、上の子の送迎等についてシルバーママを検討したが、シルバーママの送迎は歩いて行ける所だけということで、その辺の規則を変えて使いやすくしてほしい。
→(委員より回答)シルバーママの送迎は、安全上の問題や、法的な問題で変えられない。
→(事務局より回答)今計画しているファミリーサポートセンターについては、来年度中に立ち上げで考えているが、そこで送迎ができるシステムになっている。
- ・資料を見て、特に公立幼稚園の園児が少ないことを知り、シルバー人材センターが事業所として何ができるかを話している。生涯学習など世代間交流の中でできることがあるのではないかと思うが、そういう話をどこでしたらいいのかと思いながら聞いていた。
- ・幼稚園の定員割れの問題は、今議論する場をつくったほうがよいか。
→幼児関係の教育環境を変更するときには企画課が持っている協議会で協議した上で決定する仕組みが別にある。公立幼稚園の内容については、教育委員会に投げかけたところ、これから検討を始めるとのことである。ニーズ調査では公立幼稚園に入りたい親御さんも結

構おられ、そういう調査結果やこの場で頂いたご意見を教育委員会に渡して検討材料にしていただくことは可能かと思う。

- ・公立幼稚園の定員をなぜ 240 人のままにしているのか、減っている理由、財政的なことも含めてこの問題をどう考えているのか、将来的に幼稚園を休園するとか、先のことが決まっていれば、その辺も含めて次の会議のときにご回答いただければと思う。

→この会議の中で自由意見として出た分を伝えることは可能と思うが、権限の問題があり、定員の問題や幼稚園そのもののあり方をここで検討することは難しいと思う。ただ、この支援計画の中で量的なものもあるので、教育委員会も含めて内部で検討したい。

- ・娘が 4 月から公立幼稚園に通っている。幼稚園を選んだ理由は安いことと近いことだが、なぜ定員割れになったかは、公立を選ばなかった保護者にその理由を聞けば問題点が出るのではないか。実際に通って、草花の管理など親がすることが多く、そういうことも原因ではないかと感じる。

- ・別の市に住んでいるが、近隣でも公立幼稚園を持っている市はあまりなく、2 つも持っているのは財産と思う。市の財政状況等もあると思うが、安易になくすということはしないほしい。

- ・保育園について、前回、待機児童が結構あったという話があったと思うが、現状の具体的な数字を教えてください。

→待機児童については 4 月 1 日と 10 月 1 日現在の入所者で出しており、4 月 1 日現在ではゼロである。昨年 10 月に初めて待機児童が 18 名出た。

- ・ひとり親家庭には別居中の家庭もあり、そういう子が支援の谷間にいて相談を受ける。今日、ひとり親家庭の子どもさんが風邪で熱が出て、「こぐま学園」にも連絡がつかず、どうにかならないかということで預かったが、ちょっと預けられる所があったらいいと思う。

3 その他

事務局より次回日程の説明

- ・途中で会議が終わってしまうのはいかがなものか。前もって時間設定をするのではなく、きちんと審議できる時間を取るべきと思うので、もう少し配慮いただきたい。

- ・次回、今日の積み残しを審議できるのか。

→ご意見がある方はご意見シートで提出していただき、次回、回答したいと考えている。

- ・質問を出しても、宿題だけがたまって肝心なところで時間がくれば終わりになるので、質問が出たら関係者に聞いて回答は資料で出すなど、やり方を工夫してほしい。

4 閉会のあいさつ